

191 ウェルナー症候群

■ 行政記載欄

受給者番号		判定結果	☐ 認定 ☐ 不認定
-------	---	------	--

■ 基本情報

姓 (かな)				名 (かな)				
姓 (漢字)				名 (漢字)				
郵便番号								
住所								
生年月日	西暦		年		月		日	*以降、数字は右詰めで記入
性別	☐ 1. 男 ☐ 2. 女							
出生市区町村								
出生時氏名 (変更のある場合)	姓 (かな)				名 (かな)			
	姓 (漢字)				名 (漢字)			
家族歴	☐ 1. あり ☐ 2. なし ☐ 3. 不明							
	発症者続柄							
	☐ 1. 父 ☐ 2. 母 ☐ 3. 子 ☐ 4. 同胞 (男性) ☐ 5. 同胞 (女性) ☐ 6. 祖父 (父方) ☐ 7. 祖母 (父方) ☐ 8. 祖父 (母方) ☐ 9. 祖母 (母方) ☐ 10. いとこ ☐ 11. その他 *11 を選択の場合、以下に記入							
	続柄							
発症年月	西暦		年		月			

社会保障	
介護認定	☐ 1. 要介護 ☐ 2. 要支援 ☐ 3. なし
要介護度	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5
生活状況	
移動の程度	☐ 1. 歩き回るのに問題はない ☐ 2. いくらか問題がある ☐ 3. 寝たきりである
身の回りの管理	☐ 1. 洗面や着替えに問題はない ☐ 2. いくらか問題がある ☐ 3. 自分でできない
ふだんの活動	☐ 1. 問題はない ☐ 2. いくらか問題がある ☐ 3. 行うことができない
痛み／不快感	☐ 1. ない ☐ 2. 中程度ある ☐ 3. ひどい
不安／ふさぎ込み	☐ 1. 問題はない ☐ 2. 中程度 ☐ 3. ひどく不安あるいはふさぎ込んでいる

■ 診断基準に関する事項

A. 症状

I. 主要徴候（10 歳以後 40 歳まで出現）

1. 早老性毛髪変化	☐ 1. あり ☐ 2. なし ☐ 3. 不明
	☐ 白髪 ☐ 禿頭 ☐ その他 *その他を選択の場合、以下に記入
2. 白内障（両側）	☐ 1. あり ☐ 2. なし ☐ 3. 不明
3. 皮膚の萎縮・硬化（鶏眼や胼胝等）、 難治性潰瘍形成	☐ 1. あり ☐ 2. なし ☐ 3. 不明
4. 軟部組織の石灰化（アキレス腱等）	☐ 1. あり ☐ 2. なし ☐ 3. 不明
5. 鳥様顔貌	☐ 1. あり ☐ 2. なし ☐ 3. 不明

II. その他の徴候と所見

1. 音声の異常（かん高いしわがれ声）	☐ 1. 該当	☐ 2. 非該当	☐ 3. 不明
2. 糖、脂質代謝異常	☐ 1. 該当	☐ 2. 非該当	☐ 3. 不明
3. 骨の変形などの異常（骨粗鬆症等）	☐ 1. 該当	☐ 2. 非該当	☐ 3. 不明
4. 非上皮性腫瘍または甲状腺癌	☐ 1. 該当	☐ 2. 非該当	☐ 3. 不明
5. 血族結婚	☐ 1. 該当	☐ 2. 非該当	☐ 3. 不明
6. 動脈硬化	☐ 1. 該当	☐ 2. 非該当	☐ 3. 不明
	☐ 狭心症	☐ 心筋梗塞	☐ その他
	*その他を選択の場合、以下に記入		
7. 原発性性腺機能低下	☐ 1. 該当	☐ 2. 非該当	☐ 3. 不明
8. 低身長及び低体重 （参考：男性 160cm 未満、 女性 148cm 未満、 BMI 22 未満）	☐ 1. 該当	☐ 2. 非該当	☐ 3. 不明

B. 検査所見 *小数点も1文字として記入する

1. 画像検査所見：両側アキレス腱部の石灰化（火焰様とも表現される特徴的な石灰化様式を呈する）	☐ 1. 該当	☐ 2. 非該当	☐ 3. 不明
---	--------------------------------	---------------------------------	--------------------------------

C. 遺伝学的検査

遺伝子検査の実施	☐ 1. 実施	☐ 2. 未実施
☐ RecQ 型の DNA ヘリカーゼ遺伝子 (WRN 遺伝子)		

D. 鑑別診断

以下の疾病を鑑別し、全て除外できる。 除外できた疾病には☑を記入する	☐ 1. 全て除外可	☐ 2. 除外不可	☐ 3. 不明
☐ ハッチンソン・ギルフォード症候群 ☐ ロースムンド・トムスン症候群 ☐ ブルーム症候群			

<診断のカテゴリー>

☐ Definite：主要徴候の全てもしくは3つ以上の主要徴候に加え、遺伝子変異を認めるもの
☐ Probable：主要徴候の1.2.に加えて主要徴候やその他の徴候から2つ以上を認めるもの
☐ いずれにも該当しない

症状の概要、経過、特記すべき事項など *250 文字以内かつ 7 行以内

■ 重症度分類に関する事項

ウェルナー症候群の重症度分類

☐ 1 度	皮膚の硬化や萎縮が四肢のいずれかにみられるが、日常生活への影響はまだ極めて軽微
☐ 2 度	皮膚の硬化や萎縮が四肢のいずれかにみられるが、日常生活に多少の不自由はあっても従来通り可能であり、歩行障害はないか、あっても軽微である
☐ 3 度	日常生活は自立しているが、皮下の石灰化、皮膚潰瘍等による疼痛のために日常生活の制約をうけている
☐ 4 度	下肢に強い症状があり、自立歩行は不可能。介助により歩行や外出を行う。日常生活でも部分的介助を要する
☐ 5 度	ベッドまたは車椅子の生活でほとんど寝たきり、全面的介助を要する、もしくは悪性腫瘍を発症している

■ 人工呼吸器に関する事項（使用者のみ記入）

使用の有無	☐ 1. あり
開始時期	西暦 年 月
離脱の見込み	☐ 1. あり ☐ 2. なし
種類	☐ 1. 気管切開孔を介した人工呼吸器 ☐ 2. 鼻マスク又は顔マスクを介した人工呼吸器
施行状況	☐ 1. 間欠的施行 ☐ 2. 夜間に継続的に施行 ☐ 3. 一日中施行 ☐ 4. 現在は未施行

生活状況	食事	☐ 自立	☐ 部分介助	☐ 全介助
	車椅子とベッド間の移動	☐ 自立	☐ 軽度介助	
		☐ 部分介助	☐ 全介助	
	整容	☐ 自立	☐ 部分介助/不可能	
	トイレ動作	☐ 自立	☐ 部分介助	☐ 全介助
	入浴	☐ 自立	☐ 部分介助/不可能	
	歩行	☐ 自立	☐ 軽度介助	
		☐ 部分介助	☐ 全介助	
	階段昇降	☐ 自立	☐ 部分介助	☐ 不能
	着替え	☐ 自立	☐ 部分介助	☐ 全介助
排便コントロール	☐ 自立	☐ 部分介助	☐ 全介助	
排尿コントロール	☐ 自立	☐ 部分介助	☐ 全介助	

医療機関名												
指定医番号												
医療機関所在地												
電話番号											*ハイフンを除き、左詰めで記入	
医師の氏名											印 ※自筆または押印のこと	
記載年月日	西暦					年			月			日

- ・病名診断に用いる臨床症状、検査所見等に関して、診断基準上に特段の規定がない場合には、いずれの時期のものを用いても差し支えありません。（ただし、当該疾病の経過を示す臨床症状等であって、確認可能なものに限ります。）
- ・治療開始後における重症度分類については、適切な医学的管理の下で治療が行われている状態で、直近 6 か月間で最も悪い状態を記載してください。
- ・診断基準、重症度分類については、
「指定難病に係る診断基準及び重症度分類等について」（平成 26 年 11 月 12 日健発 1112 第 1 号健康局長通知）を参照の上、ご記入ください。
- ・審査のため、検査結果等について別途提出をお願いすることがあります。